

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4-②	商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する	産業振興部、都市整備部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
魅力化実施店舗数 (累計)	店舗	46	59	65	70	82	未達成
平塚駅周辺地区(明石町、紅谷町)の空き店舗の減少数(累計)	件	0	3	6	12	3	達成

関連事業				
○商店等魅力アップ推進事業○商店街にぎわい創出事業○中心市街地活性化推進事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	1,804,761	5,209,090	664,310	
執行率(%)	79.34	99.20	92.26	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> 平塚まちなか活性化隊や商店街団体などによる活動を支援するとともに、中心市街地の空き店舗を活用して出店する事業者に対する店舗賃借料や店舗改装費の補助を拡充することで、中心市街地のにぎわい創出や商店街の活性化を促進しました。 事業者のECサイト構築支援や専門知識を有するアドバイザーの派遣などにより、販売力や経営力強化を図るとともに、地域密着型観光推進事業との連携などを通じ、「ひらつか匠の店」の認知度向上を図りました。 ひらしん平塚文化芸術ホールなどの整備完了により、見附台地区の賑わいを創出して、地域や市全体の活性化を図りました。また、平塚駅北口改札階と北口駅前広場を結ぶ下りエスカレーターの整備完了により、平塚駅を誰もが安心して利用できるようになりました。

施策を推進する上での「主な課題(・)」と課題解決を図るための「取組方針(⇒)」
<ul style="list-style-type: none"> 集客や購買につながる商店街団体などの活動を促進するとともに、中心市街地においては、増加した空き店舗の対策に、引き続き重点的に取り組む必要があります。 ⇒商店街団体が行う販売促進事業などに対し、事業費補助などの支援を行うとともに、空き店舗の活用などに係る補助を、引き続き行います。

・地域外の消費者からも選ばれる個店づくりや大型商業施設出店などに対応した個店の取組を推進する必要があります。

⇒アドバイザーの派遣などを通じ、個店の専門性を活かした取組や販路拡大を支援し、大型商業施設との差別化や経営力の強化を図ります。

・魅力やにぎわいのある中心市街地の実現に向け、活性化施策の展開が必要となります。

⇒活性化施策の主体である商業者らに対し、人材発掘・育成、まちづくりの取組などの中心市街地の活性化に向けた支援を行います。